

2009-1-7

# ふじさわ・九条の会ニュース



NO15

発行人 ふじさわ九条の会 事務局長 斉藤隆夫 0466-35-7104

Eメール fujisawa9jo@infoseek.jp HP <http://fujisawa9.hp.infoseek.co.jp/>



## 九条の会 第3回全国交流集会は 熱気にあふれて



2008年11月24日、神田の日本教育会館は、全国の9条の会から選ばれた926人で会場が満杯、熱気に圧倒されました。

### ・事務局長 小森陽一氏

読売新聞でさえ「15年ぶりで改憲より護上回った」と報道した。しかし、油断はできない。解釈による改憲が実施され、戦場に送られる危険があるので監視せよ。現在、九条の会は7294も結成されている。早く8,000の会にしたいので、頑張りましょう。

### ・作家 大江健三郎氏

20年前、フリーマン・ダイソンの本『核兵器と人間』で、ガンジーのように政治的に平和を守ることに感銘を受けたが、今読み返すとクエーカー教徒の良心的兵役拒否など日常生活に密着した運動に感銘を受ける。「個

人の生きる規範」として憲法を守る事が重要

### ・憲法研究者 奥平康弘氏

田母神論文は論文に値しない。批判の余地があるものを断定的に述べただけである。しかし、憲法改正の動きが起こった場合は、公務員や学者たちも、それに参加する自由を保障しなければならない。政府の憲法の解釈・見解に拘束されないようにする必要がある。

### ・作家 澤地久枝さん

自衛隊は、文民統制されなければいけないのに、田母神氏は反逆を起こしている。過去に関東軍が勝手に軍隊を動かし満州事変を起こした。本来は死刑だが裁かなかったのが、日中戦争に拡大した。一つ一つ裁き、田母神事件も、はっきりと懲戒免職にすべきである。

### ・哲学者 鶴見俊輔氏

現在の政治家の戦後は、戦後10年後の復興のイメージしかない。戦争の悲惨さを知っていないのが問題である。戦争体験の継承に努めるべき。

### ・特別報告 日本国際ボランティアセンター 谷山博史氏

アフガンは軍事では解決できない。日本は九条を生かし、積極的に仲介すべきである。午後は分科会に分かれ、各地域・分野の活動報告がされた。次回は、ふじさわ九条の会も活動報告が予定されている。と感謝を申しあげた。 (佐藤 謙)

# 私の戦争体験記

## 第3集が 出来ました



昨年9月に引き続き、「私の戦争体験記」第3集が完成しました。

戦後63年経ち、63才より若い人たちは戦争を知らない世代です。あの悲惨な戦争の体験がや

もすれば風化しがちな時代に入ろうとしています。ふじさわ・九条の会では、「忘れまいあの日のこと、あの人のこと」を合い言葉に、戦争体験記を第2集まで発刊してきました。これまでの体験記を読んで、私も書きたい、記録に残したいとの声が寄せられ、第3集を発行する運びとなりました。今回は17名の方に執筆してもらいました。いずれの作品も、戦争を再び引き起こしてはならないという立場から、自らの直接の戦争体験、親や兄弟から聞いた話、戦後の記録など、今書いておかなければ忘れられてしまうという必死の思いが綴られている作品ばかりです。死線を乗り越えて今日まで生きてきた体験、親・兄弟がみな亡くなり孤児となって生きてきた体験、必死の思いで学徒動員で働いた体験、死んでいった兵隊達、大陸の土となって葬られた子ども達のことなど貴重な体験が綴られています。

第3集も、ふじさわ・九条の会の会員が、多くの人に声をかけ、原稿を集め、印刷、製本しました。全て手作りです。今回も100円で頒布致します。紙代、印刷代等の実費程度で、手間賃などは全く入っておりません。多くの人に読んで貰いたいと言う願いを込め、この価格にしました。600部印刷致しました。会員の皆さまはもとより、廻りの方に声をかけて広めて頂くようお願い致します。

### <第3集の執筆者、作品名>

なお、今回執筆頂いた方々並びにタイトルは次のとおりです。

八月十五日ぼくの終戦記念日

荒木 昭太郎

私の八月十四日

小野田 綾子

ニューギニアで戦死した父のこと

渡辺秋雄

父の詩『千人針』について思う

永田 陽子

死と隣りあわせの満州引揚げ

小林 麻須男

私たちの戦争体験

吉川 八重子

自分の目で見た当時の世相

新福 喜久江

戦後の思い出

安江 香代子

私の八月十五日

平野 博子

図書館の自由に関する宣言と憲法

平塚 禅定

幼いころの戦争体験 (サイパンにて)

崎山 稔

大切な命「ガラスのうさぎ」を読んで

武次 晃平

三月十日東京大空襲でみたもの

岩崎 美登

ぼくの「千の風」

槐 一男

わたしの大連

山川 敬子

八・一五を境として

坂内 宗男

ふるさと知覧は特攻基地だった

曲田エミ子

## 招かれざる客、掃海艇が 今年も江の島に来航



—海上自衛艦・掃海艇「のとじま」—

年末恒例となった江の島ライトアップ事業に今年も海上自衛隊の掃海艇「のとじま」が参加しました。12月21日に一般公開された艇内を見学してきました。中央マストにはwelcomeの旗が翻り、トナカイの縫いぐるみを着た隊員もいて、大人だけでなく子どもにもアピールしようという姿勢が目立ちました。確かに子ども連れが多く、操縦席に座らせたり隊員と一緒に写真を撮ったりと、軍艦ということに何の疑問も無さそうで楽しい見物客。「動く原発」と言われる原子力空母ジョージワシントンに3万人の見物客がおしよせたのと同じ現象なののでしょうか。ちょっと恐ろしい気がしました。艇先には機雷を爆破させる機関砲が置いてありましたが、以前は子どもたちにさわらせていたものを、私たちの抗議によって2年前からカバーをかかえるようになっていました。艇内のあちこちに展示してある写真や帰りに渡されたパンフの宣伝に乗せられて海上自衛隊に応募する若者がいないことを願うばかりです。(島田)

## 地域九条の会たより

「江ノ電沿線九条の会」

「腰越憲法九条の会」

共同企画の集い、大成功!



江ノ電沿線九条の会の5月の総会では、今後の活動についてたくさんの意見が出された。①山中恒氏の講演

会②戦跡めぐりツアー③他地域の九条の会との連携④ビデオ上映会⑤公民館への登録。こんなにたくさんの意見を実現するのは大変なことだと思っていた時、ピースリレーで腰越憲法九条の会の方々にお会いしたのをきっかけにして共同企画が始まった。江ノ電からは、山中恒氏の講演を提案し、腰越からはクールウオーターサウンズによる組曲「ガラスのうさぎ」の合唱を推薦し、11月に集いを開くための準備を進めた。懸案だった片瀬公民館への登録も、広い会場を確保するためにどうしても必要だった。チラシやプログラムの作成、役

割分担など何回も打ち合わせをもって迎えた「平和を願うコンサートと講演のつどい」は153名3名もの参加者が会場を盛り上げたいにして下さり大成功だった。

総会での意見のうち三つを実現できたことに満ち満足し、様々な苦勞もあったけれども皆さんの方の努力と協力が実りて今回の集いが成功したことことがなによりよかった。(折原京)

「六会・九条の会」

今年も「ふるさと祭り」に出展展



六会・九条の会は、11月18日～19日、六会公民館で行われた「六会ふるさとまつり」に、昨年引き続き

今年もパネル出展しました。今年は「九条の会とは」、「9条世界会議」、「戦争と私」、「日本の軍事費」の四つのテーマを紹介しました。展示内容をじっくり読んで下さる方もあり、多くの人の関心を引きました。



## クロアチア・スロベニアを旅して

永田陽子

昨年秋、クロアチア・スロベニア両国を旅して来ました。両国は、いずれも1990年ユーゴスラビアから独立した国。クロアチアはアドリア海と沿岸の古い町並とが大変調和していてとても美しいところでした。特にアドリア海の真珠と呼ばれるドヴロニク

は中世より海洋交易で栄えた都市で、400年前からの旧市街は城塞に囲まれた落ち着いた町並でした。

スロベニアは、ユニアンアルプスの山々に囲まれた山塊の風景、ブレッド湖の美しさは、絵に描いたように言葉には表せないくらいでした。旅の途中訪れたポストイナ鍾乳洞は110万年前からピウカ川の水を吸収し、石灰岩が削られて出来た物で洞窟内には不思議な形をした鍾乳石が形成されています。長さは27kmもあるとのことでした。国境を越えて7時間30分のバス移動の途中はほとんどがカルスト台地で、その間に緑が少々だけ、所々に干乾レンガで作られた家が建てられていましたが、新しいレンガ作りの家の横には半倒壊の建物が焼けこげ、銃弾の跡も生々しく残されていました。スロベニアは1991年ユーゴスラビアからの独立を宣言しましたが、ユーゴスラビアからの軍事介入を受け、交戦10日間で戦闘は終結し、独立を達成しました。2004年にはEUに加盟し2007年よりユーロを導入し、西欧社会との交流を深めています。平和で安定した国作りが進められたら良いと思います。

## ふじさわ・不戦のちかい 「平和行動」に参加して



今年の「不戦のちかい」は8日のプレイベントとして12月7日に開催されたJVC（日本国際ボランティアセンター）の長谷部さんの「アフガニスタンの現状」という講演で始まりました。長谷部さんは「平和憲法をもつ日本だからこそできる国際貢献」について熱く語ってくれました。12月8日は太平洋戦争突入の日。市民と超党派の議員たち37名によるリレートークとチラシ配布、そして、若い川浦正大さんの歌声で市民に「不戦のちかい」を訴えました。トークでは殆どの方が、田母神前空幕長の発言をとりあげ、自衛隊の危険性についてアピールしていました。2時間で750組のチラシが市民に手渡されました。16時から「不戦のちかい平和行動」の第2部として西郷武信さんの戦争体験を聞く「証言集会」が開かれました。（斎藤）

## 「湘南台九条の会」 毎月湘南台駅頭で ビラまき・マイク宣伝

湘南台九条の会では、毎月9の日に、小田急湘南台駅頭で、宣伝活動をおこなっています。12月9日にも会員約10名が集まり宣伝活動を行いました。チラシはふじさわ・九条の会で作成したものを毎回200部ほど分けてもらい、配るようになっています。署名活動も同時におこなっていますが、写真にあるように署名簿の前に絵手紙をたらし、通行人が何の署名をやっているかわか

るようにしてやっています。また、マイク宣伝も参加者が代わる代わる交代でやっています。今年も毎月続けてゆきたいと考えています。



—絵手紙画板で署名活動—

## ふじさわ・九条の会 4周年集会の準備始まる

5月16日（土）

湘南台市民シアター

澤地久枝さん講演予定

12月18日に、ふじさわ・九条の会4周年記念の集いを成功させるために、会が開かれました。参加6地域の交流が行われ、それぞれ特徴のある、会の運営が報告されました。会員の層や巾が広がるすばらしさと、それに伴う問題をどう乗り越えてみんなの知恵と力を結集してゆくか、前向きに行動してゆくことの必要性を実感し、大変勉強になりました。今後4周年の集いに向けて、ふじさわ・九条の会と地域の会が共同して取り組むことになり実行委員会を立ち上げ、今回を第1回と決めました。（永山）

## ＜事務局だより＞

### —当面のスケジュール—

- |       |               |
|-------|---------------|
| 1月12日 | 新成人向け宣伝活動     |
|       | 藤沢駅南口 12時～13時 |
| 1月19日 | 事務局会議         |
| 1月22日 | 戦争体験記執筆者茶話会   |
| 1月29日 | 世話人会議         |
| 2月 9日 | 9の日行動 サンパール広場 |
| 3月 9日 | 〃             |